

SMT インデックスバランス・オープン

追加型投信／内外／資産複合

交付運用報告書

第9期 (決算日 2019年4月22日)
(作成対象期間 2018年10月23日～2019年4月22日)

当期末	
基準価額	10,631円
純資産総額	2,897百万円
騰落率	5.9%
分配金合計	0円

(注1) 以下本書において、基準価額及び分配金は1万口当たりで表記しています。

(注2) 騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。さて、当ファンドは、このたび、上記の決算を行いました。当ファンドは、国内、先進国及び新興国の株式(DR(預託証券)を含みます。)、債券及び不動産投資信託証券(REIT)に実質的に分散投資(原則として株式40%、債券40%、REIT20%)することでリスクの低減をはかり、運用を行いました。ここに期間中の運用状況についてご報告申しあげます。今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申しあげます。

お問い合わせ先

フリーダイヤル:0120-668001

(受付時間は営業日の午前9時～午後5時です。)

PCサイト <http://www.smtam.jp/>

スマートフォンサイト <http://s.smtam.jp/>

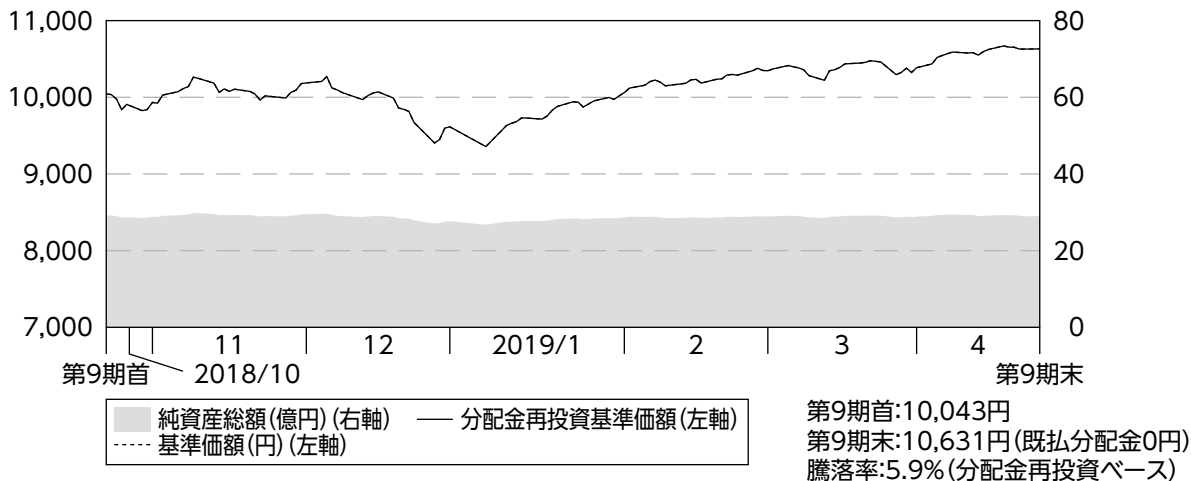
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

〒105-0011 東京都港区芝公園一丁目1番1号

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。上記PCサイトにアクセスし、「ファンドを検索する」等から、当ファンドのページを表示させることにより、運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

運用経過の説明

1 基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2018年10月22日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

2 基準価額の主な変動要因

当期初から2018年11月にかけてはもみ合いで推移しましたが、12月には世界景気の減速懸念が強まり株式市場が下落したことなどから軟調な展開となりました。2019年1月から当期末にかけては、米中通商協議進展への期待などから株式市場が上昇したことや、各国金融政策の慎重姿勢への転換などから主要国の債券利回りが低下したことを受けて堅調に推移しました。

組入ファンド	投資資産*	基本組入比率	当作成対象 期間末組入比率	騰落率
国内株式インデックス マザーファンド	国内株式	4.0%	3.9%	△3.2%
外国株式インデックス マザーファンド	先進国株式	24.0%	25.2%	6.2%
新興国株式インデックス マザーファンド	新興国株式	12.0%	12.3%	12.9%
国内債券インデックス マザーファンド	国内債券	4.0%	3.2%	2.3%
外国債券インデックス マザーファンド	先進国債券	24.0%	22.6%	3.1%
新興国債券インデックス マザーファンド	新興国債券	12.0%	12.0%	5.8%
J-REITインデックス マザーファンド	国内REIT	2.0%	2.0%	9.5%
グローバルREITインデックス マザーファンド	先進国REIT	12.0%	12.2%	9.0%
新興国REITインデックス マザーファンド	新興国REIT	6.0%	5.7%	5.9%

※REITとは、不動産投資信託証券のことをいいます。本報告書では、同様の記載をすることがあります。

運用経過の説明

3 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2018年10月23日~2019年4月22日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	27円	0.269%	(a) 信託報酬＝〔期中の平均基準価額〕×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,088円です。 信託報酬に係る消費税は当(作成)期末の税率を採用しています。 委託した資金の運用、基準価額の計算、開示資料作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(投信会社)	(11)	(0.108)	
(販売会社)	(14)	(0.135)	
(受託会社)	(3)	(0.027)	
(b) 売買委託手数料	0	0.003	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{〔期中の売買委託手数料〕}{〔期中の平均受益権口数〕} \times 10,000$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(0)	(0.001)	
(新株予約権証券)	(0)	(0.000)	
(オプション証券等)	(-)	(-)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(0)	(0.001)	
(商品)	(-)	(-)	
(先物・オプション)	(0)	(0.001)	
(c) 有価証券取引税	0	0.002	(c) 有価証券取引税＝ $\frac{〔期中の有価証券取引税〕}{〔期中の平均受益権口数〕} \times 10,000$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.002)	
(新株予約権証券)	(0)	(0.000)	
(オプション証券等)	(-)	(-)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(-)	(-)	
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	4	0.035	(d) その他費用＝ $\frac{〔期中のその他費用〕}{〔期中の平均受益権口数〕} \times 10,000$ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託預入に係る手数料等
(保管費用)	(3)	(0.032)	
(監査費用)	(0)	(0.003)	
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	31	0.309	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

4 最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したもとして計算しております。

(注2) 分配金再投資基準価額は、2014年11月28日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

	2014年11月28日 設定日	2015年4月20日 決算日	2016年4月20日 決算日	2017年4月20日 決算日	2018年4月20日 決算日	2019年4月22日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,012	9,025	9,344	10,234	10,631
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	0.1	△9.9	3.5	9.5	3.9
純資産総額 (百万円)	0.5	1,069	2,345	3,071	3,051	2,897

(注) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

運用経過の説明

5 投資環境

国内株式市場

当期初から米長期金利の上昇をきっかけとして米国株式市場が調整すると、国内株式市場も追隨して下落し、年末にかけては米中関係の悪化や世界的な景気減速懸念、米国政権運営の不透明感などが嫌気され軟調に推移しました。2019年の年明け以降は、米国の利上げ停止観測や中国の経済対策に対する期待などから国内株式市場は回復傾向となりました。

先進国株式市場

当期初から2018年12月にかけて、米中関係悪化に対する警戒感が高まったことや中国や欧州で軟調な景気指標が相次いだことを受けて世界景気減速への懸念が強まったことなどから、外国株式市場は大幅に下落しました。その後は、FRBが追加利上げに慎重なスタンスを示したことや、主要企業が堅調な企業決算を相次ぎ発表したことなどが好感され外国株式市場は上昇基調で推移しました。

新興国株式市場

当期の新興国株式市場は上昇しました。当期初から世界的な景気減速懸念などを背景に米国の利上げペースが鈍化すると観測から下げ渋る展開となりましたが、当期末にかけては米国の利上げ停止観測が高まったことなどを背景に上昇する展開となりました。

国内債券市場

当期初から日米株式市場が大幅に下落し、リスク回避目的の債券買いが強まったことから、金利は低下（価格は上昇）しました。その後も、FRB（米連邦準備理事会）の年内利上げ見送り観測に加え、米国の長短金利逆転などで世界景気の減速懸念が強まったことなどから、金利は低下基調で推移しました。

先進国債券市場

FRB総裁の発言を受けて米国の利上げ停止観測が高まったことや、英国の合意なきEU（欧州連合）離脱懸念が高まる中、ユーロ圏の景気指標の悪化や欧州委員会がユーロ圏の成長見通しを引き下げたことなどからECB（欧州中央銀行）による利上げ観測が後退し、投資国の金利は概ね低下しました。

5 投資環境

新興国債券市場

当期の新興国債券市場(ドルベース)は上昇(金利は低下)しました。FRBが金融政策の正常化ペースを緩めるとの観測を背景に米国金利が低下したことなどから、新興国債券市場は底堅く推移しました。その後は米国株式市場や原油価格の上昇などを背景としたリスク選好の動きからスプレッドが縮小し、2019年3月には米国金利が低下したことなどから、新興国債券市場は堅調に推移しました。

国内REIT市場

当期初から2018年末にかけては、世界的な景気減速懸念や米国政府機関の一部閉鎖を受け日米株式市場が急落する中、投資家心理の悪化により下落しました。2019年1月以降は、都心オフィス空室率の低水準での推移や賃料上昇傾向の強まりが好感されたことや、世界的な利回り確保の動きの中、J-REITの業績の安定性や配当利回りの高さに着目した資金流入が加速したことなどから、上昇する展開となりました。

先進国REIT市場

当期初から米国株式市場が下落したことなどを背景にリスク回避姿勢が強まり12月にかけて下落する展開となりました。2019年1月以降は、FRB議長が追加利上げに対して慎重な姿勢を示したことや、ECBによる利上げ観測が後退したことなどを受けて上昇基調で推移しました。

新興国REIT市場

当期の新興国REIT市場は上昇しました。当期初よりもみ合いで推移しましたが、2019年1月以降は新興国株式市場が上昇したことや、投資国の金利が概ね低下したことなどが好感され堅調に推移しました。

6 当ファンドのポートフォリオ

○当ファンド

国内および先進国ならびに新興国の株式・公社債・REITへ実質的に分散投資することにより、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。各資産への配分は、概ね基本組入比率を維持する運用を行いました。

・国内株式インデックス マザーファンド

ベンチマークであるTOPIX(東証株価指数)に連動する投資成果を目標として、現物株式については、東証一部上場銘柄の中から信用リスクが極めて高いと判断される銘柄を除外した上で、ベンチマークの個別銘柄構成比率に合わせたポートフォリオを組成して運用を行いました。また、設定や解約による資金の流出入等に対応するため株価指数先物取引を利用し、先物を含む国内株式の組入比率は期を通じて高位を維持しました。

・外国株式インデックス マザーファンド

ベンチマークであるMSCIコクサイ・インデックス(円ベース)に連動する投資成果を目標として、ベンチマークの個別銘柄構成比率に合わせたポートフォリオを組成して運用を行いました。また、資金の流出入等に対応するため株価指数先物取引を利用し、先物を含む外国株式の組入比率は期を通じて高位を維持しました。

・新興国株式インデックス マザーファンド

ベンチマークであるMSCIエマージング・マーケット・インデックス(円換算ベース)に連動する投資成果を目標として、ベンチマークの個別銘柄構成比率に合わせたポートフォリオを組成して運用を行い、また、資金の流出入等に対応するため株価指数先物取引を利用し、先物を含む新興国株式の組入比率は期を通じて高位を維持しました。

・国内債券インデックス マザーファンド

ベンチマークであるNOMURA-BPI総合に連動する投資成果を目標として、ベンチマークに合わせてデュレーション、債券種別や残存期間を調整しました。また、資金の流出入等に対応するため債券先物取引を利用し、先物を含む国内債券の組入比率は期を通じて高位を維持しました。

6 当ファンドのポートフォリオ

・外国債券インデックス マザーファンド

ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)に連動する投資成果を目標として、ベンチマークの通貨構成比率やデュレーション・満期構成等の諸属性を極力反映させた運用を行いました。また、資金の流入等に対応するため債券先物取引を利用し、先物を含む外国債券の組入比率は期を通じて高位を維持しました。

・新興国債券インデックス マザーファンド

ベンチマークであるJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド(円換算ベース)に連動する投資成果を目標として、ベンチマークの通貨構成比率やデュレーション・満期構成等の諸属性を極力反映させた運用を行いました。

・J-REITインデックス マザーファンド

主としてわが国の取引所に上場しているJ-REITに投資し、ベンチマークである東証REIT指数(配当込み)の動きに連動する投資成果を目標として運用を行いました。また、取引コストに留意しながらベンチマークの構成比率に合わせたポートフォリオを組成し、先物を含めたREIT組入比率は期を通じて高位を維持しました。

・グローバルREITインデックス マザーファンド

ベンチマークであるS&P先進国REIT指数(除く日本、配当込み、円換算ベース)と連動する投資成果を目標として運用を行いました。組み入れ等に際しては、取引コストに留意しながらリバランスを実施し、REITを高位に組み入れ運用を行いました。ポートフォリオの構築に際しては、個別銘柄の構成比を極力ベンチマークに近づけることで連動を目指しました。

・新興国REITインデックス マザーファンド

ベンチマークであるS&P新興国REIT指数(配当込み、円換算ベース)に連動する投資成果を目標として運用を行いました。組み入れ等に際しては、取引コストに留意しながらリバランスを実施し、REITを高位に組み入れ運用を行いました。ポートフォリオの構築に際しては、個別銘柄の構成比を極力ベンチマークに近づけることで連動を目指しました。

運用経過の説明

7 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

8 分配金

基準価額水準、市況動向等を考慮して、収益分配は見送りとさせていただきます。

なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

(1万口当たり・税引前)

項目	第9期	
	2018年10月23日~2019年4月22日	
当期分配金	(円)	—
(対基準価額比率)	(%)	(—)
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,657

(注1)「当期の収益」及び「当期の収益以外」は、円未満を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)—印は該当がないことを示します。

今後の運用方針

○当ファンド

主として、下記のマザーファンド受益証券への投資を通じて、国内、先進国及び新興国の株式(DR(預託証券)を含みます。)、債券及びREITに実質的に分散投資することでリスクの低減をはかります。

株式、債券及びREITの基本資産配分比率は、原則として株式40%、債券40%、REIT20%とします。

・国内株式インデックス マザーファンド

原則として東京証券取引所第一部に上場されている銘柄に分散投資を行い、TOPIX(東証株価指数)の動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。

・外国株式インデックス マザーファンド

原則としてMSCIコクサイ・インデックスを構成している国の株式に分散投資を行い、MSCIコクサイ・インデックス(円ベース)の動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。

・新興国株式インデックス マザーファンド

主として、取引所に上場されている新興国の株式(DR(預託証券)を含みます。)に投資し、MSCIエマージング・マーケット・インデックス(円換算ベース)に連動する投資成果を目標として運用を行います。

・国内債券インデックス マザーファンド

NOMURA-BPI総合をベンチマークとし、その動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。

・外国債券インデックス マザーファンド

FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)をベンチマークとし、その動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。

・新興国債券インデックス マザーファンド

主として、新興国の現地通貨建て債券に投資し、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド(円換算ベース)に連動する投資成果を目標として運用を行います。

・J-REITインデックス マザーファンド

わが国の取引所に上場している(上場予定を含みます。)J-REITに投資し、東証REIT指数(配当込み)の動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。

・グローバルREITインデックス マザーファンド

日本を除く世界各国のREITに投資し、S&P先進国REIT指数(除く日本、配当込み、円換算ベース)の動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。

・新興国REITインデックス マザーファンド

主として、新興国のREITに投資し、S&P新興国REIT指数(配当込み、円換算ベース)の動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。

お知らせ

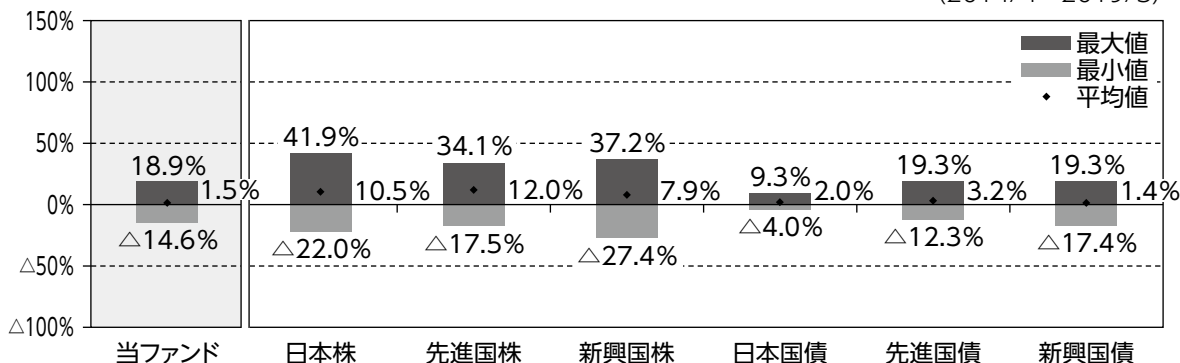
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	信託期間は2014年11月28日から無期限です。	
運用方針	投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	SMT インデックスバランス・オープン	下記のマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	国内株式インデックス マザーファンド	わが国の取引所に上場されている株式を主要投資対象とします。
	外国株式インデックス マザーファンド	原則として、MSCIコクサイ・インデックスを構成している国の株式を主要投資対象とします。
	新興国株式インデックス マザーファンド	取引所に上場されている新興国の株式(DR(預託証券)を含みます。)を主要投資対象とします。
	国内債券インデックス マザーファンド	わが国の公社債を主要投資対象とします。
	外国債券インデックス マザーファンド	日本を除く世界の主要国の公社債を主要投資対象とします。
	新興国債券インデックス マザーファンド	新興国の債券を主要投資対象とします。
	J-REITインデックス マザーファンド	わが国の取引所に上場している(上場予定を含みます。)J-REITを主要投資対象とします。
	グローバルREITインデックス マザーファンド	日本を除く世界各国の取引所に上場している(上場予定を含みます。)REITならびに取引所に準ずる市場で取引されているREITを主要投資対象とします。
新興国REITインデックス マザーファンド	新興国の金融商品取引所等(これに準ずるものを含みます。)に上場しているREITを主要投資対象とします。	
運用方法	SMT インデックスバランス・オープン	主として、下記のマザーファンド受益証券への投資を通じて、国内、先進国及び新興国の株式(DR(預託証券)を含みます。)、債券及びREITに実質的に分散投資することでリスクの低減をはかります。 株式、債券及びREITの基本資産配分比率は、原則として株式40%、債券40%、REIT 20%とします。
	国内株式インデックス マザーファンド	原則として東京証券取引所第一部に上場されている銘柄に分散投資を行い、TOPIX(東証株価指数)の動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。
	外国株式インデックス マザーファンド	原則としてMSCIコクサイ・インデックスを構成している国の株式に分散投資を行い、MSCIコクサイ・インデックス(円ベース)の動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。
	新興国株式インデックス マザーファンド	主として、取引所に上場されている新興国の株式(DR(預託証券)を含みます。)に投資し、MSCIエマージング・マーケット・インデックス(円換算ベース)に連動する投資成果を目標として運用を行います。
	国内債券インデックス マザーファンド	NOMURA-BPI総合をベンチマークとし、その動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。
	外国債券インデックス マザーファンド	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)をベンチマークとし、その動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。
	新興国債券インデックス マザーファンド	主として、新興国の現地通貨建て債券に投資し、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド(円換算ベース)に連動する投資成果を目標として運用を行います。
	J-REITインデックス マザーファンド	わが国の取引所に上場している(上場予定を含みます。)J-REITに投資し、東証REIT指数(配当込み)の動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。
	グローバルREITインデックス マザーファンド	日本を除く世界各国のREITに投資し、S&P先進国REIT指数(除く日本、配当込み、円換算ベース)の動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。
新興国REITインデックス マザーファンド	主として、新興国のREITに投資し、S&P新興国REIT指数(配当込み、円換算ベース)の動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。	
分配方針	年2回、毎決算時に委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して分配金額を決定します。ただし、分配を行わないことがあります。 分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2014/4~2019/3)



(注1) 当ファンドについては2015年11月~2019年3月(5年未満)、他の代表的な資産クラスについては2014年4月~2019年3月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示したものであり、決算日に対応した数値とは異なります。

(注2) 当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されていますので、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注3) 各資産クラスの指数

日本株・・・ TOPIX(東証株価指数、配当込み)^{*1}

先進国株・・・ MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)^{*2}

新興国株・・・ MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)^{*3}

日本国債・・・ NOMURA-BPI国債^{*4}

先進国債・・・ FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)^{*5}

新興国債・・・ JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド(円ベース)^{*6}

海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベース指数を使用しております。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※1 TOPIX(東証株価指数)とは、株式会社東京証券取引所(以下「東証」)が算出、公表する指数で、東京証券取引所市場第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象とした時価総額加重型の株価指数です。「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した株価指数です。同指数は、東証の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関する全ての権利は、東証が有しています。なお、東証は、ファンドの設定又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

※2 MSCIコクサイ・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した日本を除く世界の主要国の株式市場の動きを表す株価指数で、株式時価総額をベースに算出されます。また「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した株価指数です。同指数に関する著作権等の知的財産権及びその他の一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

※3 MSCIエマージング・マーケット・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した世界の新興国株式市場の動きを表す株価指数で、株式時価総額をベースに算出されます。また「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した株価指数です。同指数に関する著作権等の知的財産権及びその他の一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

※4 NOMURA-BPI国債とは、野村證券株式会社が公表する、国内で発行された公募固定利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスを基に計算されます。同指数の知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、同指数を用いて行われる当社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

※5 FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っていません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

※6 本指数は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

当ファンドのデータ

1 当ファンドの組入資産の内容

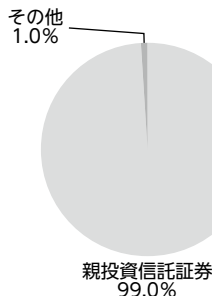
○組入ファンド

	当期末 2019年4月22日
外国株式インデックス マザーファンド	25.2%
外国債券インデックス マザーファンド	22.6%
新興国株式インデックス マザーファンド	12.3%
グローバルREITインデックス マザーファンド	12.2%
新興国債券インデックス マザーファンド	12.0%
新興国REITインデックス マザーファンド	5.7%
国内株式インデックス マザーファンド	3.9%
国内債券インデックス マザーファンド	3.2%
J-REITインデックス マザーファンド	2.0%
その他	1.0%
組入ファンド数	9

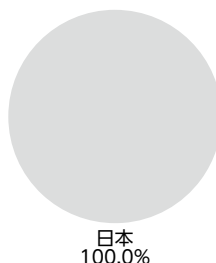
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。

2 純資産等

項目	第9期末
	2019年4月22日
純資産総額	2,897,788,604円
受益権総口数	2,725,671,201口
1万口当たり基準価額	10,631円

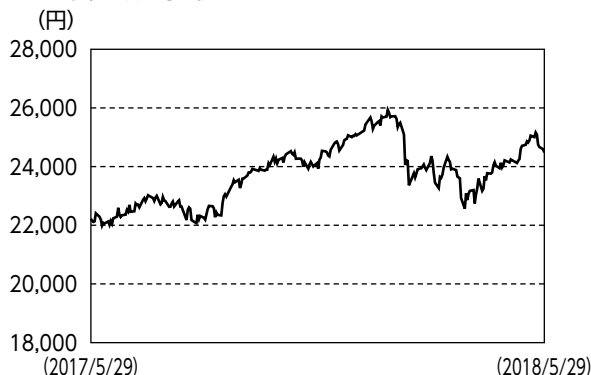
※当期間中における追加設定元本額は166,800,463円、同解約元本額は345,148,199円です。

当ファンドのデータ

3 組入上位ファンドの概要

外国株式インデックス マザーファンド

○基準価額の推移



○上位10銘柄

順位	銘柄名	国・地域	組入比率
1	S&P 500 EMIN 1806	アメリカ	3.2%
2	APPLE INC	アメリカ	2.5%
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	1.9%
4	AMAZON.COM	アメリカ	1.7%
5	FACEBOOK INC-A	アメリカ	1.1%
6	JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	1.0%

○1万口当たりの費用明細

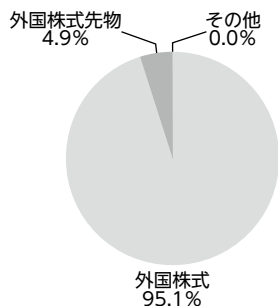
(2017年5月30日~2018年5月29日)

項目	
(a) 売買委託手数料 (株式) (投資信託証券) (先物・オプション)	1円 (0) (0) (0)
(b) 有価証券取引税 (株式) (投資信託証券)	1 (1) (0)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	7 (7) (0)
合計	9

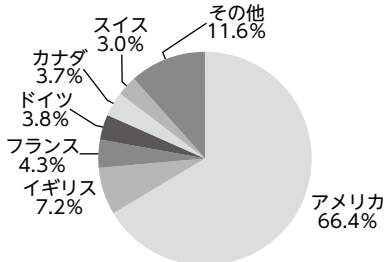
順位	銘柄名	国・地域	組入比率
7	ALPHABET INC-CL C	アメリカ	0.9%
8	EXXON MOBIL	アメリカ	0.9%
9	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	0.8%
10	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	0.8%
組入銘柄数			1,329

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

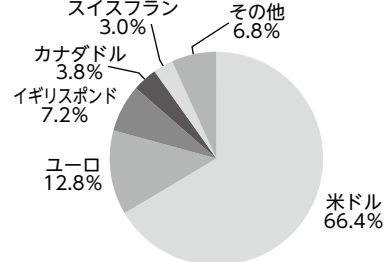
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2018年5月29日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要等については「運用経過の説明 1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注3) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。

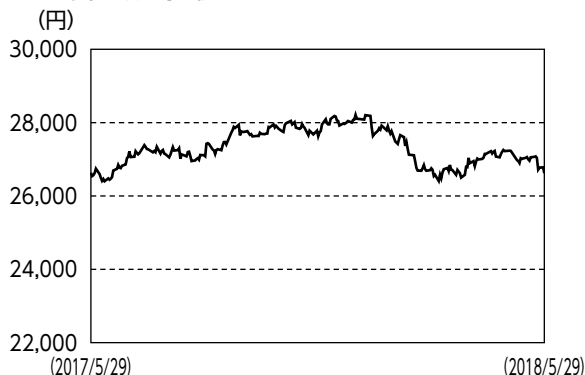
(注4) 国別配分においては、上記の他、オフバランスで外国株式先物を想定元本ベースで純資産総額に対して4.9%買建てております。

当ファンドのデータ

3 組入上位ファンドの概要

外国債券インデックス マザーファンド

○基準価額の推移



○上位10銘柄

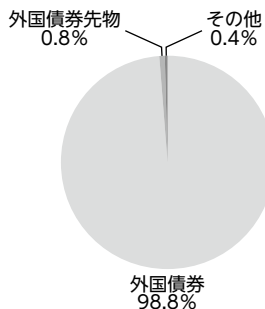
順位	銘柄名	国・地域	組入比率
1	T 1.75% 05/15/23	アメリカ	0.7%
2	T 2.875% 05/15/43	アメリカ	0.7%
3	T 2.5% 02/15/46	アメリカ	0.7%
4	T 1.875% 10/31/22	アメリカ	0.6%
5	FRTR 3.5% 04/25/20	フランス	0.6%
6	T 1.875% 12/15/20	アメリカ	0.6%

○1万口当たりの費用明細

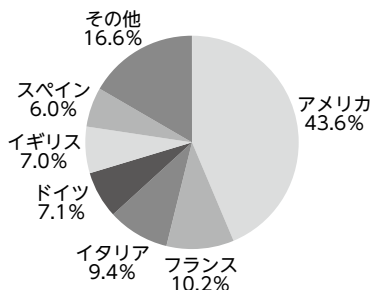
(2017年5月30日~2018年5月29日)

項目	
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	0円 (0)
(b) その他費用 (保管費用) (その他)	7 (7) (0)
合計	7

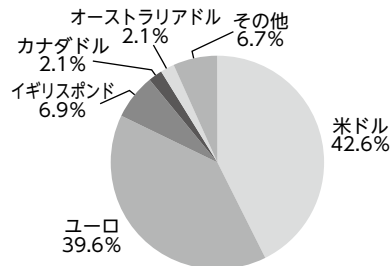
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注1) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2018年5月29日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要等については「運用経過の説明 1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注3) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。

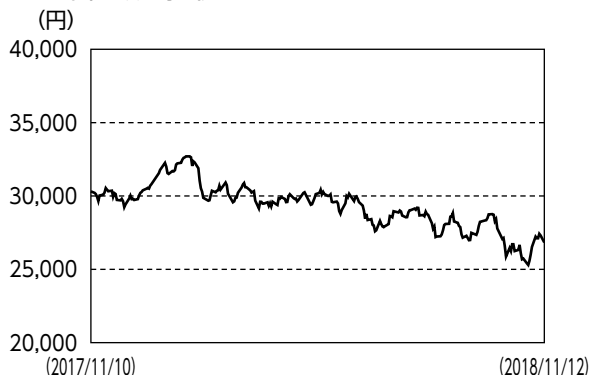
(注4) 国別配分においては、上記の他、オフバランスで外国債券先物を想定元本ベースで純資産総額に対して0.8%買建てております。

当ファンドのデータ

3 組入上位ファンドの概要

新興国株式インデックス マザーファンド

○基準価額の推移



○上位10銘柄

順位	銘柄名	国・地域	組入比率
1	TENCENT HOLDINGS LTD	ケイマン諸島	4.1%
2	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国	3.8%
3	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	台湾	3.7%
4	ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	ケイマン諸島	3.4%
5	MSCI EMERG M I812	—	3.2%
6	NASPERS LTD-N SHS	南アフリカ	1.7%

○1万口当たりの費用明細

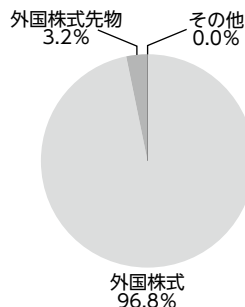
(2017年11月11日~2018年11月12日)

項目	
(a) 売買委託手数料 (株式) (投資信託証券) (先物・オプション)	8円 (5) (0) (2)
(b) 有価証券取引税 (株式) (投資信託証券)	6 (6) (0)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	44 (44) (0)
合計	58

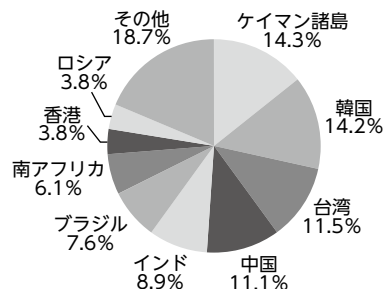
順位	銘柄名	国・地域	組入比率
7	CHINA CONSTRUCTION BANK-H	中国	1.6%
8	CHINA MOBILE (HONG KONG) LIMITED-R	香港	1.2%
9	BAIDU INC - SPON ADR	ケイマン諸島	1.0%
10	PING AN INSURANCE GROUP CO-H	中国	1.0%
組入銘柄数			955

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

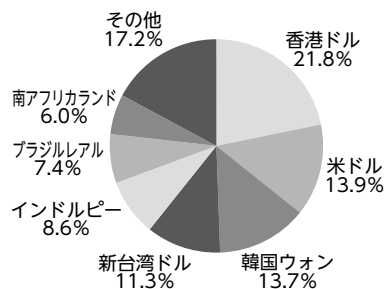
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2018年11月12日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要等については「運用経過の説明 1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注3) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。

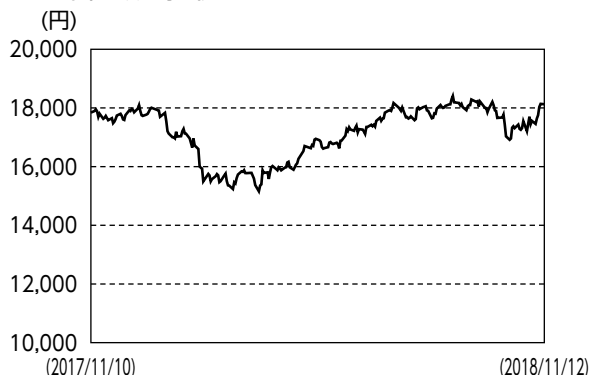
(注4) 国別配分においては、上記の他、オフバランスで外国株式先物を想定元本ベースで純資産総額に対して3.2%買建てております。

当ファンドのデータ

3 組入上位ファンドの概要

グローバルREITインデックス マザーファンド

○基準価額の推移



○1万口当たりの費用明細

(2017年11月11日～2018年11月12日)

項目	
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	1円 (1)
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	3 (3)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	7 (7) (0)
合計	11

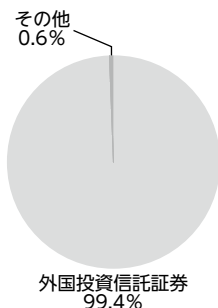
○上位10銘柄

順位	銘柄名	国・地域	組入比率
1	SIMON PROPERTY GROUP	アメリカ	5.2%
2	PROLOGIS INC	アメリカ	3.8%
3	PUBLIC STORAGE	アメリカ	2.8%
4	WELLTOWER INC	アメリカ	2.3%
5	AVALONBAY COMMUNITIES INC	アメリカ	2.3%
6	UNIBAIL-RODAMCO-WESTFIELD	オランダ	2.3%

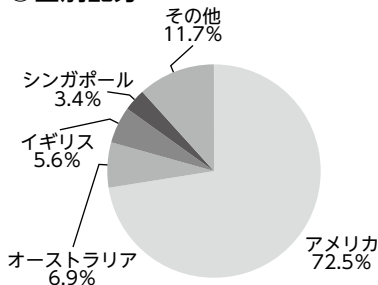
順位	銘柄名	国・地域	組入比率
7	EQUITY RESIDENTIAL PPTY	アメリカ	2.2%
8	DIGITAL REALTY TRUST INC	アメリカ	2.0%
9	VENTAS INC	アメリカ	1.9%
10	LINK REIT	香港	1.8%
組入銘柄数			305

(注)組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

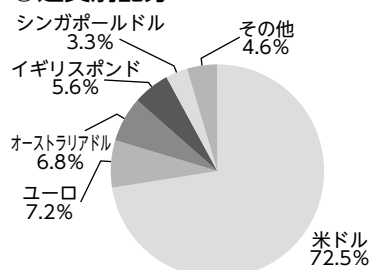
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2018年11月12日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要等については「運用経過の説明 1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

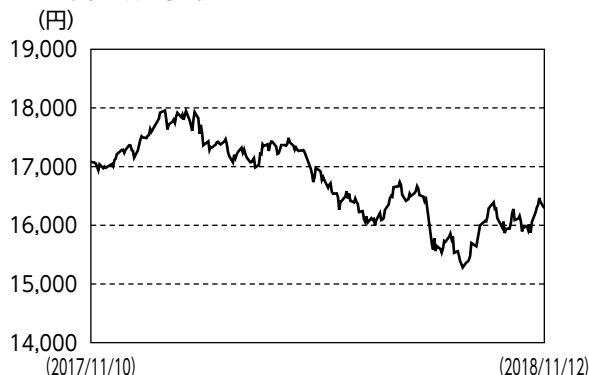
(注3) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。

当ファンドのデータ

3 組入上位ファンドの概要

新興国債券インデックス マザーファンド

○基準価額の推移



○上位10銘柄

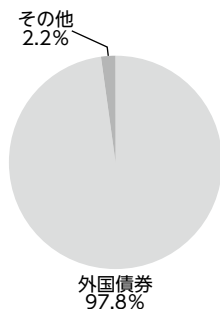
順位	銘柄名	国・地域	組入比率
1	COLOM 9.85% 06/28/27	コロンビア	4.7%
2	CHILE 5.5% 08/05/20	チリ	2.8%
3	BLTN 0% 07/01/20	ブラジル	2.2%
4	BNTNF 10% 01/01/23	ブラジル	1.8%
5	COLOM 4.375% 03/21/23	コロンビア	1.8%
6	SAGB 10.5% 12/21/26	南アフリカ	1.5%

○1万口当たりの費用明細

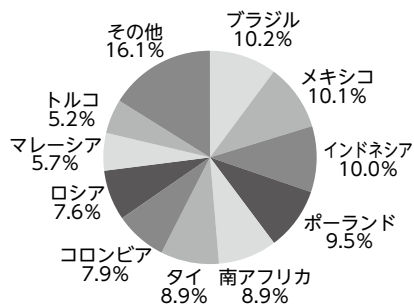
(2017年11月11日~2018年11月12日)

項目	
(a) その他費用 (保管費用)	20円 (20)
(その他)	(0)
合計	20

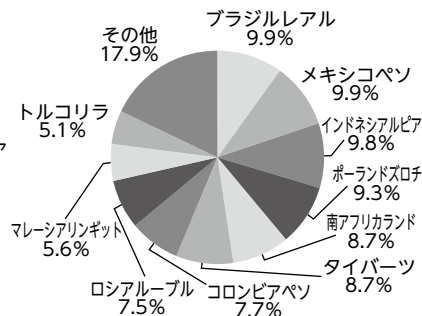
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



順位	銘柄名	国・地域	組入比率
7	BLTN 0% 04/01/20	ブラジル	1.3%
8	THAIGB 3.4% 06/17/36	タイ	1.3%
9	COLOM 7.75% 04/14/21	コロンビア	1.2%
10	MBONO 6.5% 06/10/21	メキシコ	1.1%
組入銘柄数			179

(注)組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注1) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2018年11月12日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要等については「運用経過の説明 1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注3) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。